

序章 松阪市観光振興ビジョンの策定について

1. ビジョン策定の趣旨

本市では、歴史・文化や食、自然など豊富な観光資源をもとに観光振興を図り、地域の活性化につなげていくことを目的に、2014（H26）年10月、2018（H30）年3月、2021（R3）年3月に観光振興政策の基本方針などを明らかにする「松阪市観光振興ビジョン」を策定しました。

2020（R2）年に新型コロナウイルス感染症が流行拡大し、これまでに経験したことのない深刻な影響が世界中に広がり、私たちの生活は一変し、特に観光業は甚大な被害を受けました。その間、松阪市では感染状況を鑑みつつ、コロナ禍でも可能な情報発信や観光キャンペーンを実施してきました。2023（R5）年に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、ようやくコロナ禍以前の社会に戻りつつあり、観光業においても国内外からの観光需要は回復の傾向にあることから、観光客に訪問先として選んでもらえるよう、様々な取組を行い、早期に回復して観光業を活性化する必要があります。

人口減少を迎える社会の中においては、地域経済に観光が果たす役割への期待は依然として高く、海外からの誘客も積極的に迎え入れる体制を整えつつ、持続可能な経済に貢献していくことが、今後さらに求められます。

また、ICT*の進歩により観光情報の収集・発信の手段として、旅行者がスマートフォンなどの情報端末を利用することがあたりまえとなってきました。地域の最新の情報を常時提供していくことや、デジタルマーケティング*の必要性が増すなど、観光を取り巻く環境は著しく変化しています。

これらのことを踏まえ、松阪市総合計画に基づき、本市の観光を持続的に発展させるために進むべき道標として、新たに「松阪市観光振興ビジョン」を策定します。

*ICT：「Information and Communication Technology」通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

*デジタルマーケティング：Webサイト、ソーシャルメディア（SNS）、動画など、デジタルコンテンツを活用した市場活動。

2. 計画の性格

このビジョンは、上位計画である松阪市総合計画で描かれた 10 年後の将来像「ここに住んで良かった…みんな大好き松阪市」の政策「活力ある産業」、施策「観光・交流の振興」に位置づく計画です。

また、市が取り組む観光振興に関する政策の方向性を明らかにする計画で、市はもとより市民、観光事業者、観光関係団体など、それぞれが観光振興を担う主体として共通の認識を持ち、今後の松阪市が目指すべき観光の姿と、その実現に向けた指針となるものです。

3. 計画期間

このビジョンは、松阪市総合計画の期間を見据えつつ、2025（R7）年度～2028（R10）年度にかけて 4 か年の計画とします。